

なら 植防ニュース

平成 26 年度農薬展示圃試験成績検討会が行われる

12 月 15 日に奈良県社会福祉総合センターで検討会が開催された。17 薬剤、26 件の試験成績について検討された。農業研究開発センターの移転計画（平成 28 年予定）に伴い開催場所が変わったが、50 余名の参加者で熱心に議論が行われた。

水稻の箱施用 3 剤は病害虫の発生が抑えられ、普及性が見込まれると判定された。スクミハンターはスクミリンゴガイの殺貝効果は無いが、被害防止効果が見られた。水稻除草剤は 6 剤が検討されたが、雑草が抑制され、慣行薬剤と同等の防除効果が見られた。

登録薬剤が少ないハウレンソウケナゴコナダニに対して、新規登録されたコテツフロアブルが検討された。葉に焼け症状が発生したが、収穫時に切除するため影響がなく、本葉 2 葉期までの使用によって高い防除効果が見られた。使用時期に注意が必要である。

ナシの黒星病にフルーツセイバーが検討され、黒星病の体系防除剤として期待された。柿の樹幹害虫にフェニックスフロアブル 200 倍は残効が処理後 5 ヶ月後まで見られ、樹幹害虫対策に期待される。柿カメムシ類のキラップフロアブルは、ネオニコチノイド剤と同等の防除効果であった。

いずれの薬剤も、普及が見込まれるという判定であった。（次ページに概要）

一般社団法人奈良県植物防疫協会

〒 634-0813 橿原市四条町 8 8
奈良県農業研究開発センター内
TEL0744(22)8151
FAX0744(22)8152(専用)

目 次

◎平成 26 年度農薬展示圃成績検討会	1
◎農薬展示圃成績概要	2
◎ H26 東海近畿地区植防事業検討会	3
◎登録失効になった農薬 (FAMJC の失効農薬情報より)	4

平成 26 年度新農薬実用化試験成績検討会（近畿中国地域）が行われる

11 月 18 日 メルパルク大阪において、平成 26 年度新農薬実用化試験成績検討会（近畿中国地域）が行われ、水稻殺菌剤（89 薬剤、160 試験）、水稻殺虫剤（88 薬剤、143 試験）、野菜殺菌剤（106 薬剤、198 試験）、野菜殺虫剤（136 薬剤、268 試験）について成績が検討された。

殺菌剤、殺虫剤ともに新規化合物の試験があり、昨年より多くなっている。

殺虫剤では、新規化合物のジアミド系化合物の試験が多く、実績のあるチョウ目以外にアザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエなどに対する防除効果について検討が行われた。

平成26年度 農薬展示圃成績概要一覧

評価	A: 薬剤の効果、薬害の面で普及上問題はない B: 普及に当たって更に検討する必要がある -: その他(判定できない場合)
----	---

番号	農薬名	対象作物 (栽培形態)	対象病害虫及び雑草	圃場場所	地区営農連 絡協議会	指導機 関	総合 評価
1	フルターボ箱粒剤	稲 (箱育苗)	いもち病、紋枯病、白葉枯病、もみ枯細菌病、イネシラウドムシ他	葛城市尺土	北葛	中部	A
2	嵐プリンススピノ箱粒剤10	稲 (箱育苗)	いもち病、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、イチゴ類他	桜井市巻野内	桜井しき	中部	A
3	デジタルパウアー箱粒剤	水稻	いもち病・ウンカ・ツマグロコバイ、フタオビコヤガ他	葛城市北道穂	北葛	中部	A
4	スクミハンター	移植水稻	スクミリンゴガイ	御所市檜原	御所	中部	A
5	スクミハンター	移植水稻	スクミリンゴガイ	御所市池之内	御所	中部	A
6	スクミハンター	移植水稻	スクミリンゴガイ	三宅町三河	桜井しき	中部	A
7	スクミハンター	移植水稻	スクミリンゴガイ	田原本町多	桜井しき	中部	A
8	スクミハンター	移植水稻	スクミリンゴガイ	川西町唐院	桜井しき	中部	A
9	アクシズMX1キロ粒剤	水稻	水田一年生雑草、オモダカ、クログワイ	宇陀市榛原栗谷	宇陀	東部	A
10	銀河フロアブル	移植水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ウリカワ他	奈良市都祁萩町	奈良	北部	A
11	銀河フロアブル	移植水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ウリカワ他	天理市兵庫町	天理山辺	北部	A
12	クサトリーBSX1キロ粒剤51 /ビッグシュアZ1キロ粒剤51	移植水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ウリカワ他	葛城市南道穂	北葛	中部	A
13	コメットジャンボ	移植水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ウリカワ他	田原本町八田	天理山辺	北部	A
14	コメットジャンボ	移植水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ウリカワ他	葛城市南道穂	北葛	中部	A
15	シリウスエグザジャンボ	移植水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ウリカワ他	奈良市都祁下深川町	天理山辺	北部	A
16	シリウスエグザ1キロ粒剤	移植水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ウリカワ他	葛城市南道穂	北葛	中部	A
17	シリウスエグザ2キロ粒剤	移植水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ウリカワ他	桜井市茅原	桜井しき	中部	A
18	シリウスエグザ3キロ粒剤	移植水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ウリカワ他	桜井市芝	桜井しき	中部	A
19	ゼーターワンジャンボ	水稻	水田一年生雑草、マツハイ、ホタルイ、ウリカワ他	奈良市大柳生	奈良	北部	A
20	カウンター乳剤	いちご	アザミウマ類、ハスモントウ	大和郡山市新町	郡山生駒	北部	A
21	アクセルフロアブル	非結球あぶらな科葉菜類(みずな)	コナガ、キスジノミムシ	曾爾村小長尾	宇陀	東部	A
22	コテツフロアブル	ほうれんそう	ホウレンソウコナダニ	御杖村神末	宇陀	東部	A
23	フルーツセイバー	なし	黒星病、赤星病、うどんこ病	斑鳩町稲葉車瀬	郡山生駒	北部	A
24	フルーツセイバー	なし	黒星病、赤星病、うどんこ病	斑鳩町稲葉車瀬	郡山生駒	北部	A
25	フェニックスフロアブル	かき	フタモンタラメイガ	五條市靈安寺町	五條	南部	A
26	キラップフロアブル	かき	カメムシ類、アザミウマ類	御所市南郷	御所	中部	A

平成 26 年度東海・近畿地区植物防疫事業検討会

奈良県植物防疫協会 岡山 健夫

平成 26 年 11 月 27 ～ 28 日に名古屋市において東海・近畿地区の各府県から植物防疫事業関係者を集め、会議が開催された。はじめに東海農政局山崎消費・安全部長から挨拶があった。農水省は地域活力創造プランを作成し、「強い農林水産業」・「美しく活力ある農山漁村」に向けた取り組みを進めている。輸出促進、地産地消の推進には農薬の残留基準、IPM によるコスト低減など植物防疫の貢献が期待されている。病害虫の発生様相は複雑化しており、発生予察や耐性菌調査の重要度が増している。また、新病害のウメ輪紋ウイルスやキウイフルーツかいよう病の発生調査や防除に協力いただき感謝している。

①植物防疫・農薬行政に関する情勢：植物防疫課から、今年度の病害虫発生動向について報告があった。イネ縞葉枯病はヒメトビウンカのウイルス保毒率が高く、関東5県から注意報が発表された。イネいもち病は警報が九州、中国の5県から発表された。トビイロウンカは警報が兵庫、注意報が中四国、九州の10県から発表された。園芸作物は、トマト葉かび病やイチゴのハダニ類の注意報が発表され、防除が呼びかけられた。キウイかいよう病（Psa3系統）は、7県で発生が確認されている。蜜蜂の被害事例は、水稻カメムシ防除の殺虫剤使用との関係が裏付

けられ、引き続き調査を実施する。農薬対策室から、厚労省は急性参照用量（ARfD）を考慮した食品中の残留農薬基準の設定を進めており、短期暴露評価の導入に伴う生産現場の混乱を防ぐための取り組みについて説明があった。

②本年度の水稻いもち病の発生動向について報告があり、活発に議論が交わされた。滋賀は、葉いもちが少なかったが、8月の多雨、日照不足のため急増しやや多発生となった。京都は、QoI 耐性菌が確認され、発生地域では使用を控えたが、穂いもちが見られた。大阪は、穂いもちがやや多かった。兵庫は、耐性菌発生地域の防除歴から QoI 剤を削除した。箱施薬の使用割合は高いが、本田防除は少なく、平年並みの発生であった。奈良は、箱施薬の効果が見られ、葉、穂ともに発生が少なかった。愛知は、耐病性品種の普及と BLASTAM を根拠に少発生を予想し、発生は局所的であった。岐阜、和歌山は、葉いもちの発生が少なかったが、穂いもちが発生した。三重は箱施薬の普及が進んでいるが、飼料米の種子汚染対策が不十分であり、今後の発生拡大が懸念されている。

①発生予察事業の調査基準の作成、指定有害動植物の見直し：平成28年4月の施行規則改正を目指し、必要性が高い病害虫や調査基準の策定が進められている。

登録農薬失効情報(2014. 10. 1~11. 30)				
農林水産消費安全技術センター農薬検査部の登録農薬失効情報より抜粋				
登録番号	農薬の種類	農薬の名称	申請者名	失効日
殺虫剤と野鼠剤				
5054	M E P乳剤	三共スミチオン乳剤	ホクサン	11/27
18945	エチルチオメトン・ベンフラカルブ粒剤	大塚ステッド粒剤	OATアグリ	11/11
15454	ジメトエート・フェンバレート乳剤	ミカントップ乳剤	住友化学	10/2
8358	ダイアジノン乳剤	三共ダイアジノン乳剤40	ホクサン	11/27
15680	ブプロフェジン水和剤	アブロードソル	日本農薬	11/4
19533	フルバリネート・N A C水和剤	ヤシママブリックナック水和剤	協友アグリ	11/13
19471	フルバリネート水和剤	ヤシママブリック水和剤20	協友アグリ	10/28
19472	フルバリネート乳剤	ヤシママブリックEW	協友アグリ	10/28
23508	フルバリネート乳剤	協友マブリックEW	協友アグリ	10/28
20251	マシン油乳剤	サンスプレーU F Oライトマシン	日本サシ	10/18
14009	除虫菊乳剤	パイベニカ乳剤	住友園芸	10/18
5886	タリウム液剤	液剤タリウム「大塚」2%	大塚薬品	11/1
5887	タリウム粒剤	固形タリウム「大塚」	大塚薬品	11/1
殺虫殺菌剤				
22297	シフルトリン・ピテルタノールエアゾル	アースガーデンWQ	アース	11/19
殺菌剤				
22288	イプロジオン水和剤	ロブラールフロアブル	バイエル	11/19
22289	イプロジオン水和剤	日産ロブラールフロアブル	日産化学	11/19
15648	イミノクタジン酢酸塩液剤	三共ベフラン液剤25	ホクサン	11/27
17694	ジエトフェンカルブ・プロシモドン水和剤	日農スミブレンド水和剤	日本農薬	11/7
6536	チウラム水和剤	三共チウラム80	ホクサン	11/27
14800	トリシクラゾール水和剤	武田ビーム水和剤75	住友化学	11/5
19383	ピロキロン・フラメトピル粒剤	ヤシマコラトップリンバー粒剤	協友アグリ	10/29
19387	フラメトピル・プロベナゾール粒剤	ホクコーオリゼメートリンバー粒剤	北興化学	10/29
19371	フラメトピル粉剤	リンバー粉剤DL	住友化学	10/29
19372	フラメトピル粉剤	ホクコーリンバー粉剤DL	北興化学	10/29
22462	ヨウ化メチルくん蒸剤	ヨーカヒューム	アリス	10/23
21556	銅水和剤	コサイドDF	テイクン	10/5
除草剤				
4870	I P C乳剤	三共クロロI P C乳剤	ホクサン	11/27
20951	イソウロン・M C P P粒剤	グラスジャック粒剤	保土谷	11/12
21582	イマズスルフロン・カフェンストロール・ベンゾピシクロン水和剤	協友イッテツフロアブル	協友アグリ	11/2
21583	イマズスルフロン・カフェンストロール・ベンゾピシクロン粒剤	協友イッテツ1キログラム粒剤	協友アグリ	11/2
20910	オキサジクロメホン・クロメブロップ・ピリミノバックメチル・ベンスルフロンメチル剤	デュボンパットフルエース250グラム	テイクン	10/3
20913	オキサジクロメホン・ベンスルフロンメチル剤	デュボンパットフルエースL250グラム	テイクン	10/3
22277	オキサジクロメホン・ベンスルフロンメチル・ベンゾピシクロン粒剤	プラスワンLジャンボ	テイクン	10/8
19403	カフェンストロール・ピラゾスルフロンエチル水和剤	ダイハード顆粒	日産化学	10/29
19396	カフェンストロール水和剤	日産ハイメド水和剤	日産化学	10/29
22292	グリホサートイソプロピルアミン塩・M C P Aイソプロピルアミン塩液剤	草退治ワイド液剤	住友園芸	11/19
20914	ダイムロン・ピリミノバックメチル・ベンスルフロンメチル・ペントキサゾン粒剤	フォーマット1キログラム粒剤75	クマイ化学	10/3
17753	テブチウロン・D C M U・D P A水和剤	ハービアウト水和剤	住友化学	11/30
17754	テブチウロン・D C M U・D P A水和剤	J Cハービアウト水和剤	カリット	11/30
21573	ピラゾスルフロンエチル・フェントラザミド・ベンゾピシクロン水和剤	サンサール顆粒	北海道サ	10/19
21574	ピラゾスルフロンエチル・フェントラザミド・ベンゾピシクロン水和剤	サンサールジャンボ	アグリ	10/19
21575	ピラゾスルフロンエチル・フェントラザミド・ベンゾピシクロン水和剤	サンサール1キログラム粒剤	アグリ	10/19
19431	ピリミノバックメチル・ベンスルフロンメチル・メフェナセット粒剤	デュボンプロスパー1キログラム粒剤51	テイクン	10/29
19356	ブタミホス・プロモブチド粒剤	シンエート1キログラム粒剤	住友化学	10/24
20252	プロモブチド・ベンゾフェナップ・ペントキサゾン水和剤	草闘力ふるあふる	住友化学	10/18

失効理由は FAMIC のホームページでご確認ください。 <http://www.acis.famic.go.jp/toroku/index.htm>